

令和元年度 放課後等デイサービス「戸次なごみ園」自己評価表の公表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%			基準に則したスペースを確保している。クールダウンの部屋も準備している。個々の特性に応じて対応している。
	2	職員の配置数は適切であるか	100%			基準に則した人員配置を行っているが、活動内容によっては、個別対応したり応援職員を依頼したりしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	100%			全て段差のないバリアフリーで、トイレは車いす対応の幅を確保している。また、各所に手すりも設置している。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	100%			その日のミーティングで、支援の振り返り・確認を全職員で行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			保護者へのモニタリングや面談等で、対応している。ニーズに対して、前向きに検討している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%			ホームページにて公開したり、事業所内に掲示したりしている。園便りで、そのお知らせをしている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	100%			法人第三者委員を設置して、対応している。また、指導監査の結果を受けて、業務改善している。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			法人内研修や事業所内研修をはじめ、外部研修にもできる限り職員を参加させるようにしている。
適切 な支 援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			保護者との面談を通して、個別支援会議にて計画の内容を吟味し、作成して対応するようにしている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%			保護者にも記入して頂いた利用児アセスメントシートを職員間で確認しながら、ケース検討会議で問題点を検討している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%			毎月の職員会議で、活動プログラムを立案・計画して取り組んでいる。季節感や利用児の個性や実態に即した内容にしている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%			マンネリにならないように昨年の取り組みの振り返りと利用児の個性・実態に即して内容を進化していくようにしている。また、利用児の意見も取り上げるようにしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100%			長期休暇の状況に応じて、個々の課題を設定している。また、長期休暇時にしかできないお出掛けを実施している。

14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			毎日のプログラムの中に、個別活動と集団活動を取り入れて対応している。	
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			毎日のミーティングで、その日の打ち合わせや支援の取り組みについて確認している。また、毎日倫理綱領を唱和して、支援の向上に努めている。	
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	83%		17%	その日の支援の振り返りをし、その内容を業務日誌に記入している。また、職員全員が回覧し、押印確認をするようにしている。	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			毎日、個別支援記録を必ず記入している。継続して支援する場面や課題行動での支援者側のアプローチの方法等、今後につながるような記録を実践している。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			6か月ごとの見直し（モニタリング）を行い、利用児の状況の変化に対応している。また、送迎時に聞き取りを実施している。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	100%			ガイドラインを職員に回覧するなど周知して、確認しながら取り組んでいる。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%			児童発達管理責任者が原則出席するようにしているが、状況に応じて、療育現場で主に関わっている職員が出席するような体制をとっている。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	100%			送迎時や電話連絡等で必ず確認するようにしている。また、送迎時のトラブルについても適宜報告・連絡を管理者にするようにしている。また、保育所等訪問支援を通して、情報共有を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	50%	50%		アセスメントシートに利用児の状況を記入してもらい、必要に応じて主治医と連携をとるように保護者とも確認するようにしている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100%			各関係機関と情報共有を会議等で積極的に行い、支援につなげている。また、学校迎え時に情報共有している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	100%			移行前の担当者会議等で、情報提供し、連携することでスムーズな移行に取り組んでいる。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%			その都度必要に応じて、各関係機関と連携し、本児の支援に取り入れている。SV派遣も取り入れている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	50%	50%		児童クラブ等との交流は、実現できていないが、地域の行事に参加することをしている。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	66%	34%		案内のある協議会等には、出来る限り参加すると共に、法人他事業所とも連携をとっている。

	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			送迎時や個別面談等を通して、利用児の状況について共通理解を持つようにしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	50%	50%		保護者も参加できる研修を紹介する等、対応力の向上ができるよう工夫を行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			利用契約時に、書面にて説明し、同意を得るように努めている。また、見学者に対しても丁寧な対応をしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			児童発達管理責任者や主任保育士を中心に、保護者の相談に応じ、保護者の不安を軽減できるように取り組んでいる。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%			毎年、保護者会を開催し、保護者同士の交流が図れるようにしている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			苦情解決の受付等に関する説明を利用契約時に行い、体制は整えている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			毎月、園便りを発行し、なごみ園での過ごし方や活動内容の様子を伝えるようにしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	100%			個人情報の取り扱いについては、利用契約時に同意書を交わし、その都度保護者に確認しながら取り組むようにしている。また、書類は施錠付きの棚に置いている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			利用児の特性や必要に応じて、絵カードやスケジュール表、ホワイトボード等を活用している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	83%	17%		地域交流祭として、法人祭りを毎年開催している。
非常時等	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%			各マニュアルについては、保護者会で周知したり、利用開始時に説明したりしている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	83%	17%		避難訓練を定期的に行っている。利用児の特性に応じて実際に避難しなくても紙芝居等で意識付けている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			セルフチェックシートを定期的に職員に記入してもらい、日常の支援の振り返りに取り組んでいる。また、法人内研修で、毎年虐待防止研修会も開催している。

守 の 対 応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%			安全面での配慮について、必要に応じて個別支援計画に取り入れ、対応について説明し、同意を得るようにしている。やむを得ず身体拘束を実施した場合、記録をとり改善対応策を検討するようにしている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%			食物アレルギーに関しては、指示書は特になくケースが多いが、保護者と情報共有し、主治医の指示に応じて対応するようにしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	83%	17%		業務日誌にヒヤリハット事例を記入し、ミーティングで情報確認・共有をするようにしている。